

2022(令和4)年7月20日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

OKAZAKI PARK STAGE 2022 + STAGE INCUBATION KYOTO

オカザキパークステージ2022+
ステージ インキュベーション キョウト

2022.
09.23 FRI - 10.30 SUN

Free(予約不要)
@ロームシアター京都ローム・スクエア(屋外)
特設エリア「石ころの庭」

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

劇場の中庭で、
あらゆる境界は融けて、
交わる。

@ロームシアター京都 ローム・スクエア(屋外)特設広場「石ころの庭」

無料・申込不要(演劇スタジアム、飲食などは別料金)

9/23(金・祝)~25(日) ステージ インキュベーション キョウト 演劇スタジアム

10/1(土)、10(月・祝) ローム・スクエアライブ

10/2(日) GOU/郷 ※雨天荒天時は10/8(土)に順延

10/8(土)、15(土)、22(土)、30(日) ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語り、いろいろ焼いて食べる会

10/16(日) 岡崎ワールドミュージックフェスタ 2022

10/30(日) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022 関連企画 カンパニーXY 屋外パフォーマンス

企画製作:ロームシアター京都

[OKAZAKI PARK STAGE]

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

令和4年度文化資源活用推進事業

[ステージ インキュベーションキョウト]

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)「JAPAN LIVE YELL project」

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形

電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

企画趣旨

今年もロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」を会場に、市民ステージや野外での演劇企画、オリジナリティのあるカルチャーを発信する仕掛け人との音楽イベントなど、無料で楽しめる多彩な催しや集いをプロデュースする。

空間は、建築からパブリックスペースまで領域にとらわれない設計活動を行う新進気鋭の建築家・岩瀬諒子設計による屋外広場「石ころの庭」を設営する。イベント時は多様なかたちでパフォーマーと観客が融合しあい、イベントのない日は、空間は遊びを誘発する場として機能し、日常に融けあう。

この広場を舞台に、パフォーマーと観客、日常と非日常、私的空間と公共空間…あらゆる境界が融けあい、交わりあうことで、これまでにない新たな出会いと創造が立ち上がる。

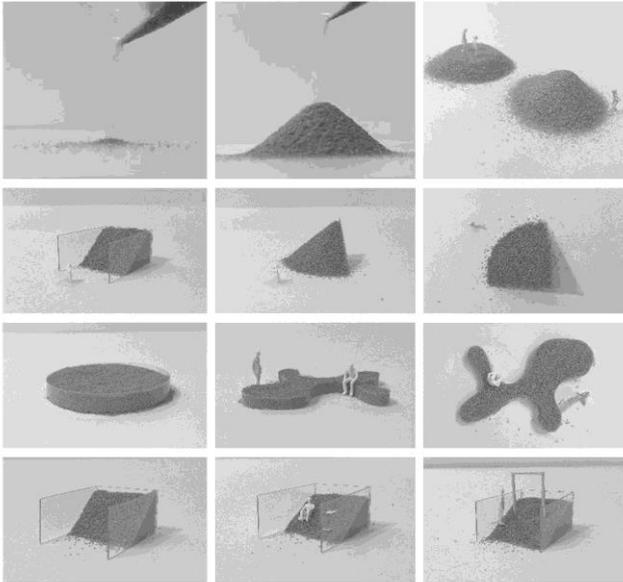
イベント・展示スケジュール

※各イベントの雨天・荒天時の場合の変更・中止に関する情報は当日 10:00 までにお知らせします。

	日中の催し	夜間の催し	展示
9/23(金・祝) ～25(日)	ステージ インキュベーション キョウト 演劇スタジオ		岩瀬諒子設計 「石ころの庭」 [関連企画] ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022 プログラム 「Livelyyyy」 ～10/30 まで KYOTO EXPERIMENT ミーティングポイント ～10/23 まで
10/1(土)	ローム・スクエアライブ		
10/2(日)	GOU／郷		
10/8(土)	(GOU／郷 順延日)	ステージ インキュベーション キョウト ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで 語らい、いろいろ焼いて食べる会 (以下、ちっちゃい焚き火の会)	
10/10(月・祝)	ローム・スクエアライブ		
10/15(土)		ちっちゃい焚き火の会	
10/16(日)	岡崎ワールドミュージック フェスタ 2022		
10/22(土)		ちっちゃい焚き火の会	
10/30(日)	ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022 関連企画 カンパニーXY 屋外パフォーマ マンス	ちっちゃい焚き火の会	

屋外広場の空間設計について

タイトル:「石ころの庭」/ 設計: 岩瀬諒子設計事務所



日常的に市民の憩いの場として機能する劇場の中庭「ローム・スクエア」に、建設現場等で使用される石ころをテンポラリーなものとして運び込み、仮設のパフォーマンスエリアを生成する。

1か月の限られた舞台設営のためにゼロからの設営/解体を行うのではなく、もともと他の目的のためにある石を仮に使用し建てることで、空間を立ち上げることをサステナブルな計画としている。

左: コンセプトイメージ

[展示期間] 9月23日(金・祝)～10月下旬まで(最終日未定)

[岩瀬諒子コメント]

ローム・スクエアに石ころを運び込むことで「仮設」のパフォーマンスエリアをつくることを提案します。数週間の舞台の設営のために何か新しいものをつくり、解体するというよりも、もともと移動する予定の石たちをこの場所にしばらくの間中継させ、会期が終わると別の場所に帰っていくサステナブルな計画として考えています。

石ころのまとまりによって空間を緩やかに囲い、またステージや客席とも機能するような場所をつくりながらローム・スクエアにいくつかの領域をつくります。

間仕切りのようなものを併用することで有料公演の際には人の出入りを制御しますが、演目にあわせて、演者の人たちがパフォーマンスするエリアを選べるような空間を目指しています。石ころの上に座布団を置いて客席として利用することや、演者によっては石ころの上をステージと見立てて使用する人もいるかもしれません。

また、公演がおこなわれていない時間には、通りがかった人々やカフェを利用する人々の居場所として日常のシーンを彩り、東山の山々を背景としたまちの石庭のような風景となることを期待しています。



岩瀬諒子 Ryoko Iwase

1984年新潟県生まれ/2007年京都大学工学部卒業/2010年同大学大学院修士課程修了/2008～09年EM2N Architekten/2011～12年限研吾建築都市設計事務所/2013年岩瀬諒子設計事務所設立/慶應義塾大学・東京藝術大学での従事のうち、2020年より京都大学工学研究科建築学専攻助教。建築空間からパブリックスペースまで、領域にとられない設計活動を行う。2017年木津川遊歩空間「トコトコダンダン」竣工。グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)(2018)ほか受賞多数。第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館展示「ふるまいの連鎖:エレメントの軌跡」(2021)に参加。

<http://www.ryokoiwase.com/>

プログラム詳細

◆ステージ インキュベーションキョウト 演劇スタジアム

ローム・スクエア内に出現する、建築家・岩瀬諒子設計による公共空間としてデザインされたスペースを舞台に、京都で活躍する、今、勢いのある若手劇団やアート・コレクティブによるパフォーマンスを連続上演。屋外公演ならではの、新鮮かつ臨場感あふれる刺激と体験を演出する。

[日時] 2022年9月23日(金・祝)～25日(日)※1ステージにつき2団体が上演
開演時間未定、決定次第ロームシアター京都 WEB サイトにてお知らせいたします。

公演情報ページは[こちら](#)

※雨天・荒天時は23日(金・祝)のみノースホールで開催、24日(土)、25日(日)は中止いたします。

[会場]ローム・スクエア内 特設エリア「石ころの庭」

[料金]一般 2,000 円、ユース(25歳以下)1,000 円、18歳以下 500 円 ※当日券各 500 円増

1日通し券(前売のみ):一般 3,000 円、25歳以下 1500 円

2022年8月13日(土)チケット一般発売開始

[参加団体(五十音順)] 演劇企画モザイク(京都学生演劇祭2021大賞受賞団体)、劇団なかゆび、
幻灯劇場、レトロニム

演劇企画モザイク

「見てはいけないでも見たい」をコンセプトに、同志社大学の学生を中心として結成した演劇企画。コンプライアンスや既成概念の外側にある世界を見せつける。京都学生演劇祭2021大賞・観客賞・参加団体賞を受賞。

劇団なかゆび

同志社大学の学生劇団・第三劇場の神田真直を中心に2014年結成。京都学生演劇祭2016審査員特別賞、第二回全国学生演劇祭審査員賞を受賞のほか、第二回大韓民国演劇祭 in 大邱での招聘公演の経験を持つ。古典戯曲から創作戯曲まで幅広く取り扱いつつ「問いの同時代性」を主眼に上演に取り組み、演劇人コンクール2020では優秀演出家賞を受賞。

幻灯劇場(げんとうげきじょう)

劇作家や映像作家、俳優、ダンサー、写真家など多様な作家が集まり演劇をつくる集団。

旗揚げ公演『ミルユメコリオ』でせんだい短編戯曲賞を最年少受賞。文化庁文化交流事業の一環として『56db』を製作、二ヶ国五都市で上演。2021年、京都芸術センターのCo-program カテゴリーA、こまばアゴラ劇場主催プログラムに採択され、『盲年』京都・東京ツアー公演を行う。

レトロニム

俳優の瀬戸沙門、陶芸を素材として扱う武内もも、演出家の野村真人からなる京都のアート・コレクティブ。

2022年に劇団速度から名称を変更。「人とその周辺」にあるコンテンポラリーな物事や出来事をマテリアルに、それぞれの視点を通して生まれる面白がり方を、遊び心ある方法やオブジェクトによって共有することを目指す。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)「JAPAN LIVE YELL project」 協力:京都学生演劇祭実行委員会

◆ローム・スクエアライブ

岡崎地域住民を中心としたパフォーマンス等の上演を行う市民ステージ。

[日時] 2022年

① 10月1日(土)12:30~16:00

出演: 京都文教中学高等学校ダンス部、錦林児童館、子どもコーラス Comodo、シャイニングスターズ、手話ロックバンド BRIGHT EYES super-duper ほか

② 10月10日(月・祝)12:30~16:00

出演: うたう会“絆”、歌って健康コーラス、岡崎女性会民踊部、岡崎リトルポップスターズ & Canalian Voices、京都市立白河総合支援学校、白河総合支援学校音楽部、東山中学・高等学校吹奏楽部 ほか



[会場]ローム・スクエア内 特設エリア「石ころの庭」

※雨天・荒天時はピロティで開催

[料金]無料・申込不要



手話ロックバンド BRIGHT EYES super-duper

1989年5月愛知県立名古屋聾学校音楽クラブ設立と同時に結成。メンバー4人のうち、1名を除いてはみんな耳が不自由であるが、心から伝わる熱いステージを見せてくれる!!

北海道から沖縄まで数多くのイベントに出演し、これまでのライブの数は250回以上を達成。「奇跡体験!アンビリバボー」(フジテレビ)、「24時間テレビ”愛は地球を救う”」、韓国テレビ(MBC文化放送)、その他ローカル番組やニュースなどに出演。アマチュアバンドフェスティバルで準優勝した事やゴールドコンサートで入賞した事、国内最大級のギター祭典 TOKYO GUITAR SHOW 2010 出演した事など、メンバーの自信になっている。

2009年にドキュメンタリー映画化した「ジャップ・ザ・ロック・リボルバー」(監督:島田角栄)が上映、2010年に講談社より『ブライツ・アイズ「ありがとう」のひとことを』が出版される。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協力:京都市岡崎いきいき市民活動センター

◆GOU／郷

独自の視点で京都カルチャーを発信するギャラリー&ショップ「VOU／棒」とロームシアター京都がタッグを組み、屋外広場におけるまだ見ぬ祭りをプロデュースする。
秋の太陽の下で東山を背景に、伝統と郷土への愛と反骨の意思を孕むビートとメロディーは音頭となり、享楽へと導く。

[日時] 2022年10月2日(日)11:30~17:30

※雨天・荒天時は10月8日(土)10:00~16:00に順延

[会場]ローム・スクエア内 特設エリア「石ころの庭」

[料金]無料・申込不要

[出演・出店]

【LIVE & DJ】荒井優作、威力、TOYOMU、7FO、NEW MANUKE、よいとせや(下村よう子、藤本喜代珠、藤田八起) and more

【EVENT】岡崎レコードを聴く会サークル(協力:京都市岡崎いきいき市民活動センター)

【SHOP】VOU

タイムテーブル決定次第ロームシアター京都 WEB サイトにてお知らせいたします。

公演情報ページは[こちら](#)



VOU／棒

2015年、開業、京都の中心地・四条河原町から住宅街に入った場所に位置する、元印刷所跡地の3階建ビルを改装した、ギャラリーとショップを併設するオルタナティブスペース。

ギャラリーでは、ボーダーレスな企画展を定期的で開催し、ショップでは、アパレル・ZINE・陶器などをセレクトし、VOUのオリジナルプロダクトを作り手たちと共同制作し販売している。また、トークやポップアップ

イベントなども企画し、アーティストとファンが交流できる場を設けている。あらゆるカルチャーをビル内で複合的に交差させ、街へ向けた発信拠点として機能している。

<http://voukyoto.com/>

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同企画:川良謙太(VOU)

◆ステージ インキュベーションキョウト

ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会(ホスト:小山田徹)



全国各地でカフェや迎え火などのプロジェクトをアートとして実践するアーティスト小山田徹をホストに迎え、共有空間としての“焚き火”をおこなう。

10月の毎週末に、ロームシアター京都の中庭ローム・スクエアにて、みんなで小さな薪ストーブを囲み、語らい、“縁食^(※)”する空間を設けます。原始的な「火」を囲みながら、焼き芋をしたり、ドリンクを片手に語りあったりと、同じ時間と食を共有することで、肩書や身分、所属を問わず、誰もが自律的かつゆるやかに集える

場を創出する。

※本企画は、今年2月にロームシアター京都の自主事業として開催された、小山田徹と食農思想史研究者・藤原辰史の対談企画【[「いま」を考えるトークシリーズ Vol.19「縁食」のスメーゆるやかに集うコミュニティの可能性](#)】での対話をきっかけとして立ち上げられたものです。藤原氏は著書『縁食論——孤食と共食のあいだ』(ミシマ社、2020年)において、食を通じた人と人の結びつきや場の新たなあり方を「縁食」(えんしょく)と名付け、その可能性を提唱しています。トークレポートは[こちら](#)

[日時] 2022年10月 ①8日(土) ②15日(土) ③22日(土) ④30日(日)
各日 17:30~20:30

[想定参加人数]: 1回につき 70名(焚き火 10か所)

[会場] ローム・スクエア

[料金] 無料・申込不要

企画監修: 小山田徹



小山田徹 Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アーツケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。日本洞窟学会会員。

主催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、京都市立芸術大学、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

文化庁統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)「JAPAN LIVE YELL project」

協力: 岡崎自治連合会、株式会社中嶋農園、京都市京セラ美術館、深町加津枝(京都大学地球環境学堂)、藤原辰史(京都大学人文科学研究所)、南寛、みんなのミシマガジン編集部(株式会社ミシマ社)

★実施にあたり、この小さな共有空間の中心となる「火」を管理し、場をともに作りあげるサポートを務めていただくボランティアスタッフ「火守」を募集します。

詳細は[こちら](#)(応募締め切り: 8月19日(金)消印有効)

◆岡崎ワールドミュージックフェスタ 2022



岡崎公園を中心とした周辺地域に、文化的な賑わいと交流を生み出すことを目的に、岡崎エリアの飲食店や施設が主体となり実施している音楽祭。

[日時] 2022年10月16日(日)10:30～終了時間未定

[会場] ローム・スクエア内特設エリア「石ころの庭」

※雨天・荒天時はピロティで開催

[料金]無料・申込不要

[出演] 三味線三昧(多様な三味線の競演)/リン タイユ(台湾・中国琵琶)/ボルジギン ボヤン(内モンゴル自治区・馬頭琴)/京都朝鮮歌舞団/近衛中学校・岡崎中学校吹奏楽部/手作り三味線ワークショップ ほか

詳細は後日 [岡崎ワールドミュージックフェスタ 2022 Facebook ページ](#)にて案内いたします。

主催:岡崎ワールドミュージックフェスタ実行委員会、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

◆ニュー・ブランシュ KYOTO 2022 関連企画 カンパニーXY 屋外パフォーマンス



©Pascale Cholette

11月2日(水)、3日(木・祝)にロームシアター京都サウスホールで[カンパニーXY with ラシッド・ウランタン「Möbius / メビウス」](#)を上演する、フランス拠点の現代サーカスカンパニーによる約20分間の屋外パフォーマンス。

[日時] 2022年10月30日(日)14:30

[会場]ローム・スクエア

[料金]無料・申込不要

カンパニーXY

フランスを代表する、現代サーカスのカンパニー。前代未聞となるアクロバットパフォーマー17名による「グランドC」(2009年)、22名からなる「夜はこれから」(2014年)など、集団でのアクロバットによる迫力のパフォーマンスとその芸術性の高さで世界中から注目を集めている。毎回、異なる振付家とのコラボレーションも話題。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

制作協力:世田谷パブリックシアター、愛知県芸術劇場

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、京都新聞

助成:アンスティチュ・フランセ パリ本部、笹川日仏財団

この事業は、競輪の補助を受けています。

[関連企画]

◆ニュー・ブランシュ KYOTO 2022 プログラム「Livelyyy」

フランスのグラフィックデザイナーGuillaumitの拡張現実の作品「Livelyyy」の展示。

[日時] 2022年10月1日(土)～30日(日)

[会場] ローム・スクエア

[料金]無料・申込不要

[お問い合わせ]アンスティチュ・フランセ関西 TEL:075-761-2105

主催:京都市、アンスティチュ・フランセ関西

◆KYOTO EXPERIMENT ミーティングポイント

KYOTO EXPERIMENTは2010年より京都市内で毎年開催している国際舞台芸術祭です。

アートユニット「CMTK(森千裕×金氏徹平)」による、大型のレンチキュラー印刷を用いたインスタレーション作品が「ミーティングポイント」=観客とフェスティバルとをつなぐ交流の場となり、ワークショップやトークなどのイベントを開催します。

[日時] 2022年10月1日(土)～23日(日) 12:00-18:00(火曜・水曜休み)

※10/1、2、8、15、16、21、22、23のみ 12:00-21:30

※雨天時等は休場となる場合があります。

[会場] ローム・スクエア

[料金]無料・申込不要(一部、有料イベントあり)

[お問い合わせ]KYOTO EXPERIMENT 事務局 TEL:075-213-5839

主催:京都国際舞台芸術祭実行委員会[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO(一般社団法人アーツシード京都)]